

【台紙】

(表面)

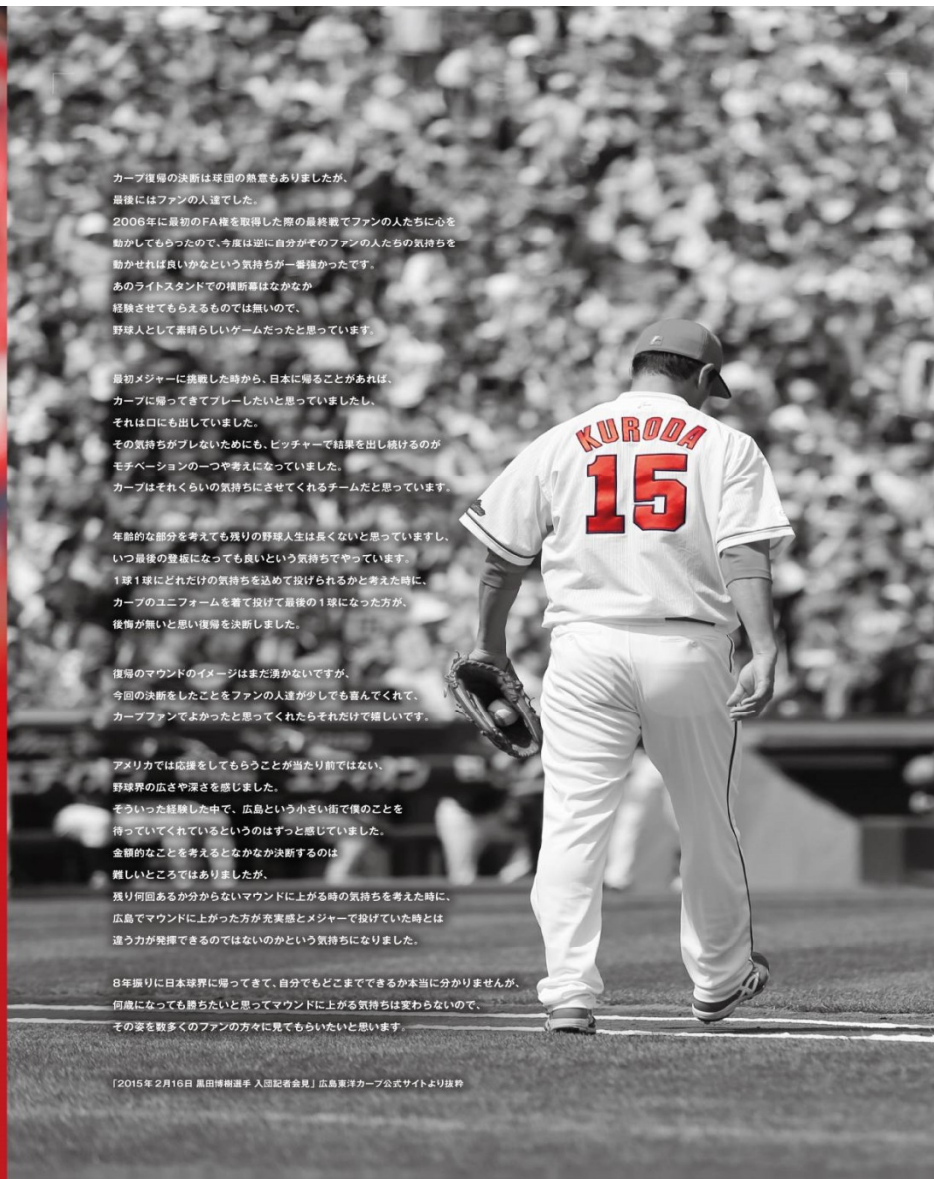


(裏面)



黒田博樹投手成績

	年度	所属	試合	投球回	完投	完封	勝利	敗戦	セーブ	三振	自責	防御率
広島東洋カープ成績	1997	広島	23	135	4	1	6	9	0	64	66	4.40
	1998	広島	18	45	0	0	1	4	0	25	33	6.60
	1999	広島	21	87 2/3	2	1	5	8	0	55	66	6.78
	2000	広島	29	144	7	1	9	6	0	116	69	4.31
	2001	広島	27	190	13	3	12	8	0	146	64	3.03
	2002	広島	23	164 1/3	8	2	10	10	0	144	67	3.67
	2003	広島	28	205 2/3	8	1	13	9	0	137	71	3.11
	2004	広島	21	147	7	1	7	9	0	138	76	4.65
2005	広島	29	212 2/3	11	1	15	12	0	165	75	3.17	
2006	広島	26	189 1/3	7	2	13	6	1	144	39	1.85	
2007	広島	26	179 2/3	7	1	12	8	0	123	71	3.56	
	通算		271	1700 1/3	74	14	103	89	1	1257	697	3.69
メジャーリーグ成績	2008	ドジャース	31	183 1/3	2	2	9	10	0	116	76	3.73
	2009	ドジャース	21	117 1/3	0	0	8	7	0	87	49	3.76
	2010	ドジャース	31	196 1/3	0	0	11	13	0	159	74	3.39
	2011	ドジャース	32	202	0	0	13	16	0	161	69	3.07
	2012	ヤンキース	33	219 2/3	3	2	16	11	0	167	81	3.32
	2013	ヤンキース	32	201 1/3	1	1	11	13	0	150	74	3.31
	2014	ヤンキース	32	199	0	0	11	9	0	146	82	3.71
	通算		212	1319	6	5	79	79	0	986	505	3.45
日米通算			483	3019 1/3	80	19	182	168	1	2243	1202	3.58



カープ復帰の決断は球団の熱意もありましたが、最後にはファンの人達でした。
2006年に最初のFA権を取得した際の最終戦でファンの人たちに心を動かしてもらったので、今度は逆に自分がそのファンの人たちの気持ちを動かせれば良いかなという気持ちが一番強かったです。
あのライトスタンドでの横断幕はなかなか経験させてもらえるものではないので、野球人として素晴らしいゲームだったと思っています。

最初メジャーに挑戦した時から、日本に帰ることがあれば、カープに帰ってきてプレーしたいと思っていました。それは口にも出していません。
その気持ちがブレないために、ピッチャーで結果を出し続けるのがモチベーションの一つや考えになっていました。
カープはそれくらいの気持ちにさせてくれるチームだと思っています。

年齢的な部分を考えても残りの野球人生は長くないと思っていますし、いつ最後の登板になっても良いという気持ちでやっています。
1球1球にどれだけの気持ちを込めて投げられるかと考えた時に、カープのユニフォームを着て投げて最後の1球になった方が、後悔が無いと思いついて決断しました。

復帰のマウンドのイメージはまだ湧かないですが、今回の決断をしたことをファンの人達が少しでも喜んでくれて、カープファンでよかったと思ってくれたらそれだけで嬉しいです。

アメリカでは応援をしてもらうことが当たり前ではない、野球界の広さや深さを感じました。
そういった経験の中で、広島という小さい町で僕のことを待っていてくれるというのはずっと感じていました。
金額的なことを考えるとなかなか決断するのは難しいところではありましたが、残り何回あるか分からないマウンドに上がる時の気持ちを考えた時に、広島でマウンドに上がった方が充実感とメジャーで投げた時とは違う力が発揮できるのではないのかという気持ちになりました。

8年振りに日本球界に戻ってきて、自分でもどこまでできるか本当に分りませんが、何歳になっても勝つたいと思ってマウンドに上がる気持ちは変わらないので、その姿を数多くのファンの方々に見てもらいたいと思います。

「2015年2月16日 黒田博樹選手 入団記者会見」広島東洋カープ公式サイトより抜粋